

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年02月12日

計画の名称	長岡市中心市街地地区整備計画												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	長岡市												
計画の目標	<p>長岡市中心市街地活性化基本計画（第2期計画）におけるまちづくりの目標を実現し、多くの市民で賑わい市民の誰もが誇りをもてる中心市街地を創出する。</p> <p>長岡市中心市街地活性化基本計画（第2期計画）テーマ みんなが創るまちなかの価値 ~誰もが楽しみ安心できる場所、誰もがつながり育てるまち~</p> <p>目標</p> <p>長岡を代表し、まちの活力を牽引する 中心市街地が高質で先進的なサービスを生産・発信する場として長岡をリードし、市域全体の牽引役となる。</p> <p>多様な機能と多世代が集まる まちなかに不足する機能や市民ニーズの高い多様な機能を導入・強化し、子どもから高齢者まで多くの人が気軽に楽しみ交流できる場所づくりを行う。</p> <p>日常と非日常が交わり楽しむ 中心市街地全体が、さらに日常的に時間を過ごせる場所、魅力あふれる暮らしの場所となり、イベント等の非日常としても楽しめる場所づくりを行う。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	1,261	A	1,240	B	0	C	21	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	1.66	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 平成28年度	中間目標値	最終目標値 令和5年度
1	中心市街地における一日あたりの歩行者通行量（人） 大手通りなど中心市街地主要16地点における一日あたり歩行者通行量の比較 従前値は平成28年10月の平日に実施した日交通量（13時間計測）	86282人	人	100000人
2	人づくり・学び・交流エリア（仮称）の年間利用者数（人） 移転前の市立図書館（互尊文庫）、社会実験中のN a D e C B A S E と移転後のまちなか図書館（仮称）、産学連携情報交流センター（仮称）年間利用者数の比較	51691人	人	146100人
3	中心市街地内の起業数（件） 中心市街地における起業数の比較 従前値は平成26～29年度の年平均値	5件	件	8件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	長岡市	直接	長岡市	-	-	長岡市中心市街地地区都市再生整備計画事業(都市再構築戦略事業)	駐車場有効利用システム、地域生活基盤施設、高質空間形成施設、高次都市施設、中心拠点誘導施設 (90.5ha)	長岡市						1,235		策定済
	A10-002	都市再生	一般	長岡市	直接	長岡市	-	-	まちなかウォークアブル推進事業	滞在環境整備事業(96.3ha)	長岡市						5		-
											小計						1,240		
										合計						1,240			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	C10-001	都市再生	一般	長岡市	直接	長岡市	-	-	多世代交流拠点整備検討 調査事業 ほか	効果分析調査	長岡市						21		-
		調査によって事業化が図られた場合には、これまで中心市街地に不足していた都市的サービスの機能の強化が図られ、さらなるまちの賑わいを創出することが期待される。																	
											小計						21		
											合計						21		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
長岡市社会資本総合整備計画等事業評価監視委員会を開催し、評価に対する妥当性の検証及び今後の社会資本整備方策に関する意見聴取を行った。	令和6年2月
	公表の方法
	長岡市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心市街地における一日あたりの歩行者通行量は平成30年度以降減少傾向にあったが、令和5年にミライエ長岡が開業する等各種事業の実施により、令和5年度は下げ止まりとなり、回復傾向にある。</li> <li>・ 人づくり・学び・交流エリア(=ミライエ長岡)の年間利用者数について、令和5年度に互尊文庫及びNaDeC BASEがミライエ長岡に移転したことで、大きく増加した。</li> <li>・ 令和4年度は、コロナ禍が明け、対面による起業の個別相談やセミナー、イベント等の開催が再開したことにより、顔を突き合わせた密なやり取りが可能となるとともに、イベント参加者同士のネットワーク形成も促進され、事業効果が高まったことで中心市街地内の起業数の増加につながった。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度に互尊文庫がミライエ長岡に移転したことで(まちなか図書館(仮称)整備事業)、都市的サービス提供機会が向上した。</li> <li>・ 店ちか駐輪場設置社会実験事業により、路上駐輪場及び路面標示設置に関する知見が蓄積した。</li> <li>・ まちなか歩行者誘導サイン整備社会実験事業により、公共サインの再整備について検討が進んだ。</li> </ul>
特記事項(今後の方針等)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来を担う子どもや若者が活躍できるまちなかの拠点としてミライエ長岡を位置づけ、中心市街地における市民の居場所づくりだけでなく、若者の起業・創業に繋がる取組や子供の創造性を育てる取組を引き続き実施する。</li> <li>・ ミライエ長岡の開業で充実した「教育」、「歴史」、「文化」に関する都市的サービスの利用を全市で促進していく。</li> <li>・ 中心市街地全体でも回遊性を高める取り組みを実施する。</li> <li>・ 自転車利用者に対する啓発活動を推進する。</li> <li>・ 民間駐車場の管理者に対して、PR活動を推進する。</li> <li>・ 公共交通利用者のニーズに合わせた決済方法を検討する。</li> </ul>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	中心市街地における一日あたりの歩行者通行量（人）	
	最終目標値	100000人
	最終実績値	65664人
2	人づくり・学び・交流エリア（仮称）の年間利用者数（人）	
	最終目標値	146100人
	最終実績値	272098人
3	中心市街地内の起業数（件）	
	最終目標値	8件
	最終実績値	7件